

ひびき

教育目標「なかよく かしこく たくましく」
——一人一人を大切にする「風通し」のよい学校——
多治見市立共栄小学校 R8.3.26

「認め合い」「自分で考え」「チャレンジする」に向けて取り組んだ1年間！
—来年度も、この「三つ合言葉」に磨きをかける共栄小にしていきたいと思います—

共栄小学校長 加藤 隆史

本日、令和7年度の修了式を行いました。修了式では以下のような話を子どもたちにさせていただきました。長文となりますが、ご一読くださり、ご家庭や地域の皆様も共有していただければ幸いです。

今年度は「**認め合い**」「**自分で考える**」「**チャレンジする**」の3つの合言葉を大切にしてきました。

まず、「**認め合い**」についてお話しします。今年は、委員会のみなさんが、放送や廊下の掲示で、友だちのよいところをたくさん伝えてくれました。そのおかげで、あいさつの姿やそうじの姿もどんどんよくなり、「いいね」「すごいね」と言える人がふえてきました。みなさんも、ちがう学年や学級の仲間のよさにも気づけるようになったと思います。5・6年生が作りあげたこの伝統を、ぜひ続けてほしいです。そして、来年度は、もっともっと、一人一人のよさやちがいを認め合える、優しい学校にしていきたいと思います。だれもいやな思いをしない、みんなが笑顔でいられる学校にしたいです。

次に、「**自分で考える**」です。今年度は、自己調整学習といって、「どうやって勉強したらいいかな」「わからないときどうしたらいいかな」と、自分で「学び方」を考えながら学ぶことにチャレンジしてきました。タブレットも、自分で学び方を考えるために、その学び方をふりかえるために、また、分からないときには自分で調べるために、さらには自分の考えをまとめるために、とても上手に使えるようになりました。他の学校の先生たちも、そんな、共栄小のみなさんが自分で考えて取り組む授業が見たいと、たくさん来られるほどでした。それくらい、すばらしい学びをしていたということです。来年度は、タブレットも新品になります。それをどんどん活用して、全校で、そして、いろんな教科で、「自分で学び方を考える」ことをさらに進めてほしいです。

最後に、「**チャレンジする**」です。この一年、一人一人、学年、そして学校全体で、目標や問題解決に向かってチャレンジしてきました。たとえば、給食です。これまでは、給食を多治見市で一番残してしまう学校でしたが、今年は、残す量がとても少ない学校になり、今では多治見市で3番目に少ない学校になりました。これは、みなさん一人一人のがんばりの成果です。来年は、4月に決めた学級や学年の目標をみんなで意識して、「何をがんばるか」「どうやってがんばるか」を、自分で考えて、もっとチャレンジしていきたいと思います。

来年度も、この三つの合言葉の実現に向けて頑張っていく共栄小学校にしたいです。合言葉をただ飾ってあるだけでなく、本物にしてほしいです。

保護者や地域の皆様につきましては、この一年、ご理解とご協力をいただき心より感謝しております。誠にありがとうございました。

《学校からの文書配信について》

本校では、「紙資源の削減」「事務の効率化」の観点から、学校からの文書のペーパーレス化を行ってきました。一方で、「ロイロノートによる配信は使いづらい」というご意見もいただいています。保護者のご意見をもとに、校内でも検討した結果、令和8年度より学校からの文書は「絆メール」での配信とさせていただきます。引き続き、文書のペーパーレス化へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。